

教科名	英語	科目名	論理表現 I	学年	1年	単位数	2
教科書	Big dipper English Logic and Expression I		副教材	Big dipper Logic and English Expression I ワークブック			

1 科目の目標

英語の4技能・5領域において、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落の文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになる。

2 学習について

① 予習・復習の方法

予習：辞書により、語句の意味調べなどを行う。

復習：授業を通して、理解できたこと、分からなかったところを確認する。

② 授業における学習方法

授業は積極的に理解に努める姿勢で向かい、自ら英語を使って表現する努力をする。

③ 家庭学習のポイント等

宿題は、出されたときには、必ず自分の力でやる。Lessonごとの例文テストの準備は満点をとれるように勉強する。

教科書準拠の問題集（work book など）に取り組み、内容を理解する。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期	はじめに①・②・③ 4 My Friends	・伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて英語で表現できる。 ・「～である [ない]」「～ですか [しますか]」などを英語で表現できる。
	中間	5 My Family 6 Pastime	・「～する [している]」「～した [していた]」などを英語で表現できる。 ・未来に行うことについて、英語で表現できる。
後期	前期	7 My town 8 Our teachers	・現在・過去における完了・継続・経験の意味を英語で表現できる。 ・能力・許可・推量などの意味を英語で表現できる。
	期末	9 Visiting a Museum 10 Famous People	・必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。 ・「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる。
後期	後期中間	11 Reading 12 Studying abroad 13 Advice 14 Hobbies	・「～される [されない]」「～に満足している」などを英語で表現できる。 ・「～すること」「～する方法」「～するための…」などを英語で表現できる。 ・「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などを英語で表現できる。 ・「～すること」などを英語で表現できる。
	学年末	15 My Vacation 16 In a Zoo 17 Our Team 18 Neighbors	・「～している [された] …」「～しに行く」「～しているのを見る」などを英語で表現できる。 ・2つのものを比べて、「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現できる。 ・「最も～」「2倍の～」「できるだけ～」などを英語で表現できる。 ・「～する人/物」「…が～する人/物」などを英語で表現できる。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
品詞の性質や用法を理解したうえで文を作り、実際のコミュニケーションで使う技能を身につけている。英語でどのような表現を用いるのかを理解し、コミュニケーションを図る技能を身につけている。	適切な場面において、学んだ文法項目を用いて、表現することができる。適切な場面において、文法の用法に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、**単元ごとのパフォーマンス課題**、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…60% **思考・判断・表現…30%** **主体的に学習に取り組む態度…10%**